

令和元年度定例会 3 月会議開会挨拶（令和 2 年 3 月 9 日開催）

令和元年度定例会 3 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

中国から発症した新型コロナウイルス感染症の猛威は、世界中に拡散し、日本中を席卷、日常生活に大きな影響を与え続け、特に北海道の発症率は高く、未だ収束する気配が見られず、さらに細心の注意を払って冷静沈着に対処していかなければなりません。

今、3 月会議は、町政執行方針に示された重要案件に係る各会計の新年度予算を審議する重要な議会であり、活発な議論が展開されます事を願っております。

政策については、行政評価に繋がる事を意識し、計画精度を高める事が重要であり、厳しい財政状況に配慮し、「最小の経費で、最大の効果」を念頭に算定根拠を明確にし、理解を得て共通の認識を持つことも大切ですし、議会・行政ともに政策の過程をさらにわかりやすく町民の皆様を示していく努力も必要です。

国政の状況は、新型コロナウイルス感染症一色の感がありますが、「説明不足の唐突な要請」、「明確に説明されない桜を見る会問題」、「検察官の定年延長を巡る法解釈の変更」等々、誠実に答弁をせず、ヤジが飛びかう等々、残念ながら、依然として、地方行政・議会の模範にもならない憂慮すべき状況が続いております。

町づくり、議会両基本条例に基づき、町民との協働のまちづくりを目指す、行政・議会は、町民の模範となるよう規律を遵守し、情報を適確に発信し、共有することをあらためて心掛けなければなりません。

福島町議会としても、町民の信頼を得、負託に応えるため一層研鑽に励み、課題に向かって着実に活動を続けていかなければならないと思っております。

観測史上最低の降雪量となり、地球温暖化による生態系の異常な変化や農作物・漁獲量への影響等、不安な状況が続きますが、3 月 5 日の啓蟄も過ぎ、桜の便りが聞かれる時節となりました。

出席者各位には、健康に留意され、お体ご自愛の上、本定例会の議事運営にご協力をいただきますよう、お願い申し上げ開会の挨拶といたします。